

# みんなでSDGs！！②

SDGs 教科との関連（各教科、総合的な学習）

ねらい 持続可能な社会の創り手を育てるため、「克服」をテーマにSDGsへの学びを深める

対象	中学生以上
人数	1班4～6名程度
時間	1時間半～2時間程度
場所	おおぐま こぐま ※アウトリーチも可能
準備物	団体：班割表、振り返りシート、筆記用具、Chromebook ネイパル：PC、遊戯盤、サイコロ、コマ、出題カード紙



時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事前準備（1週間前までに事前に打合せ）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スプレッドシートをGoogleClassroomで生徒に配布する。</li> <li>・PC及びモニターかプロジェクターを設置する。</li> <li>・出題カードを各グループに相当数用意する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイパルより、所定のスプレッドシートを送付する。</li> <li>・PC、プロジェクターはネイパルで貸出可能。</li> </ul>
35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●活動内容を確認し、「克服」をテーマに「SDGsってなんだろう」という疑問を解き明かしていく。</li> <li>・人類は（縄文時代→弥生時代→現代）食料問題を克服して発展</li> <li>・ミッションⅠ（私たち人間はこれまで何を克服してきただろう？）</li> <li>・ミッションⅡ（〇〇克服物語を作ってみよう！）</li> <li>・ミッションⅢ（気づいてみよう。今、私達が克服する問題は？）</li> <li>・ミッションⅣ（私達が克服する問題をSDGs 17の目標に当てはめてみよう！）</li> </ul>	[授業形式で実施] <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の声をひろい、学びを広げていく。</li> <li>・思考、表現の過程を大切に、個人の考えを全体で共有し、話し合い活動で学びを深めることも可能。</li> </ul>
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生成AIの活用方法を確認する。（主にGeminiかChatGPT）</li> </ul>	プロンプトの作り方など
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●質問項目づくり</li> <li>①各班人数分の出題カードを配布する。</li> <li>②（個人作業）目標1～17の中からテーマを1つ選び、それに関する3択のクイズを作る。</li> </ul>	※一人一台端末を使用  ※各テーマバランスがよくなるように班内で調整する。
10分	休憩	
30分～45分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループワーク（すごろくに挑戦）</li> </ul> <p>遊び方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① サイコロを振って順番を決める。</li> <li>② サイコロを振ってコマを移動させる。</li> <li>③ 指示がないマス目も1マスにカウントしコマを進める。</li> <li>④ 止まったマス目のテーマの質問を作成した出題カードかスプレッドシートから選んで、班員で考えて回答する。</li> <li>⑤ GOALのマスに、ちょうど止まるまで繰り返す。</li> <li>⑥ 最後の一人になるまでGOALを目指す。</li> </ol>	<p>タブレットで質問を操作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題はスプレッドシートを使って表示し、正答をみんなで話し合います。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1班に1人引率者がつくことより学びを深めることができる。</li> <li>・作成した出題カードを優先して使用する。</li> <li>・すごろくの実施回数で時間調整を行う。</li> </ul>
5分～20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●振り返り・片付け</li> <li>・振り返りシートに各自記入。今後、取組たいことなどを発表。</li> <li>・机、椅子をもとの位置に戻す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活において小さなプラスの行動が起こせるような振り返りにする。</li> </ul>

アクティビティ(活動)の流れ

※スライドは「日本ESD学会副会長 手島利夫氏」が創作したものをベースにアレンジしたものです。